

古今和歌集

十九

|      |
|------|
| ~ 13 |
| 3162 |
| 10   |





貞  
画

十九編下

物  
和  
北

種  
負  
作



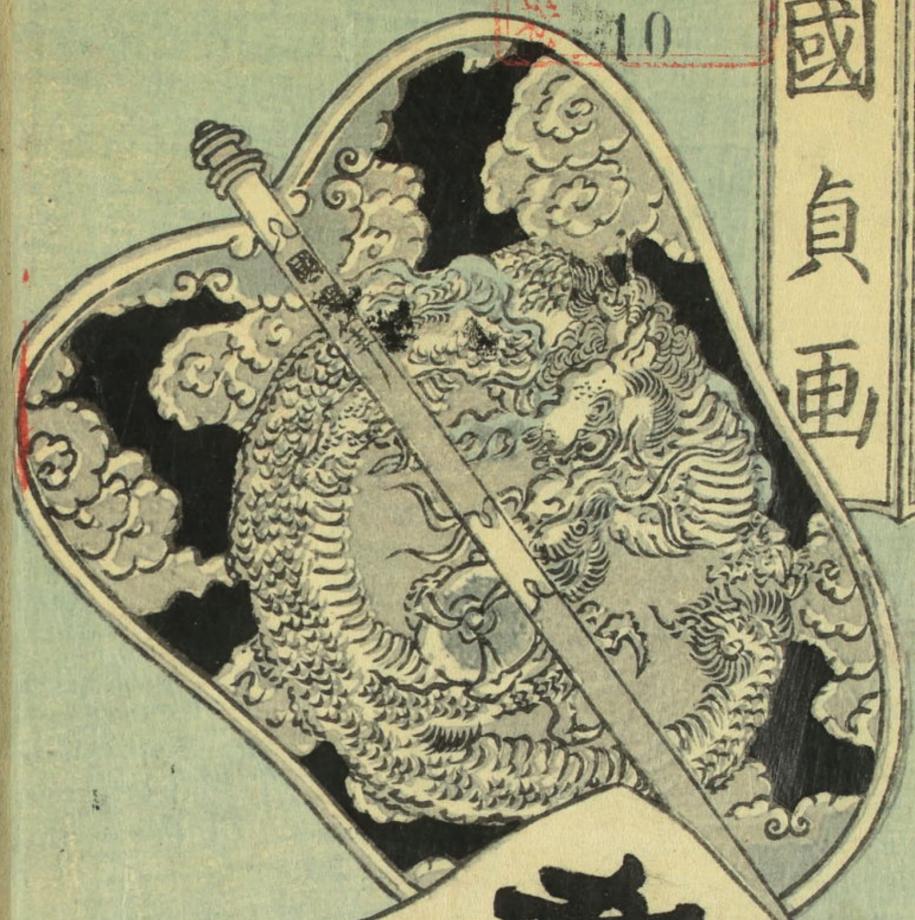
志  
己  
如  
花  
禪

十九編上

外題西

門へ 13  
3162  
10

種員作  
國負画



昭和  
十月  
柳下  
麻



十葉  
香蝶  
白縫  
九卷

中村喜平の七十余の道成寺の所作夏を勤  
 容色在年と更お衰らむ伎藝も聊劣らむ都鄙群集て  
 用物と豊國叟も齡の古稀ふ並うわがくも画的の艶  
 兼弱冠ふ弥倍まの奉世愛玩をこれども近來禪史の  
 描筆と止あられもて者官方一増翁の画なる策子と喝堂  
 とせ知ぬ名僕と荒吏師の意一成細画の机上ふ押戻一十葉  
 て強て求め彼京鹿子の文句ふ因らめとらん 櫻木小鏡むら  
 こやととられ此巻も傍妻白梅が嫉妬と見とるを瀬  
 の最中鱗形の組卒が何の恨く有明の撞鐘とてと  
 中より現出蛇身の丈の甘尋余と云ふの異と寸堵の間ふ述  
 安政乙卯開端  
 柳下喜平種員



肥後國阿蘇嶽  
山賊の首領阿修羅丸



若菜嬢



豊後國





あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり



あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり

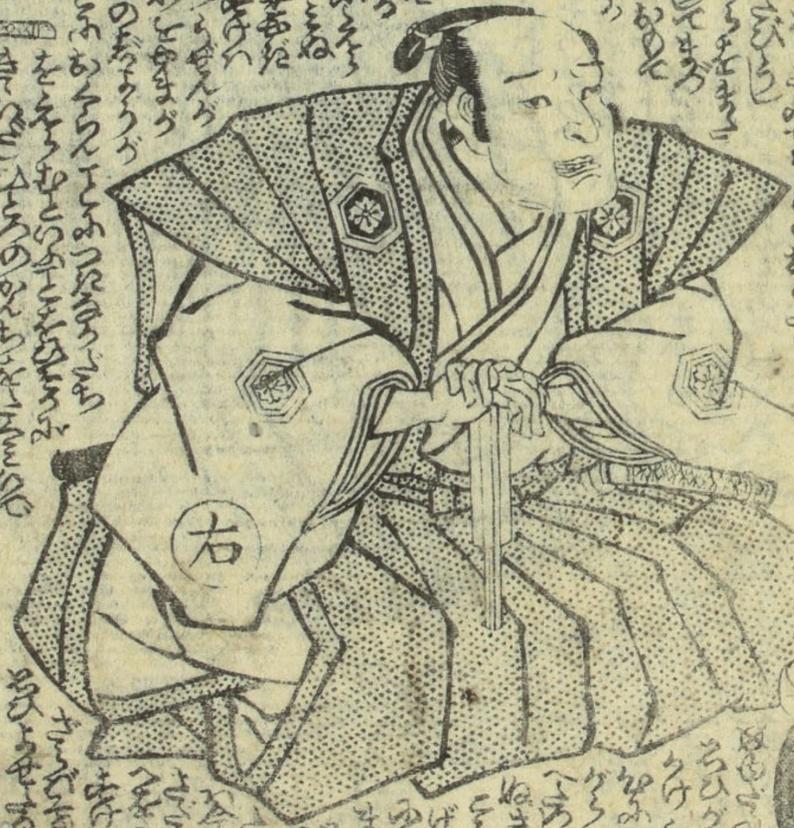
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり  
あつちのまゝの  
おひつり



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or dialogue, located at the top of the page.



Handwritten text in a cursive script, continuing the commentary or dialogue, located at the bottom of the page.



Vertical handwritten text on the left side of the right page, possibly a title or introductory text.

Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or dialogue, located at the bottom of the right page.





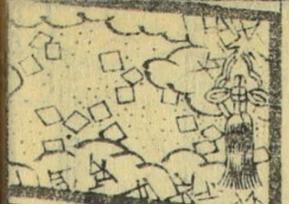
Handwritten text in the upper left corner of the left page, including the characters '梅' (Ume) and '春' (Haru).



Handwritten text in the lower left corner of the left page, continuing the narrative or dialogue.



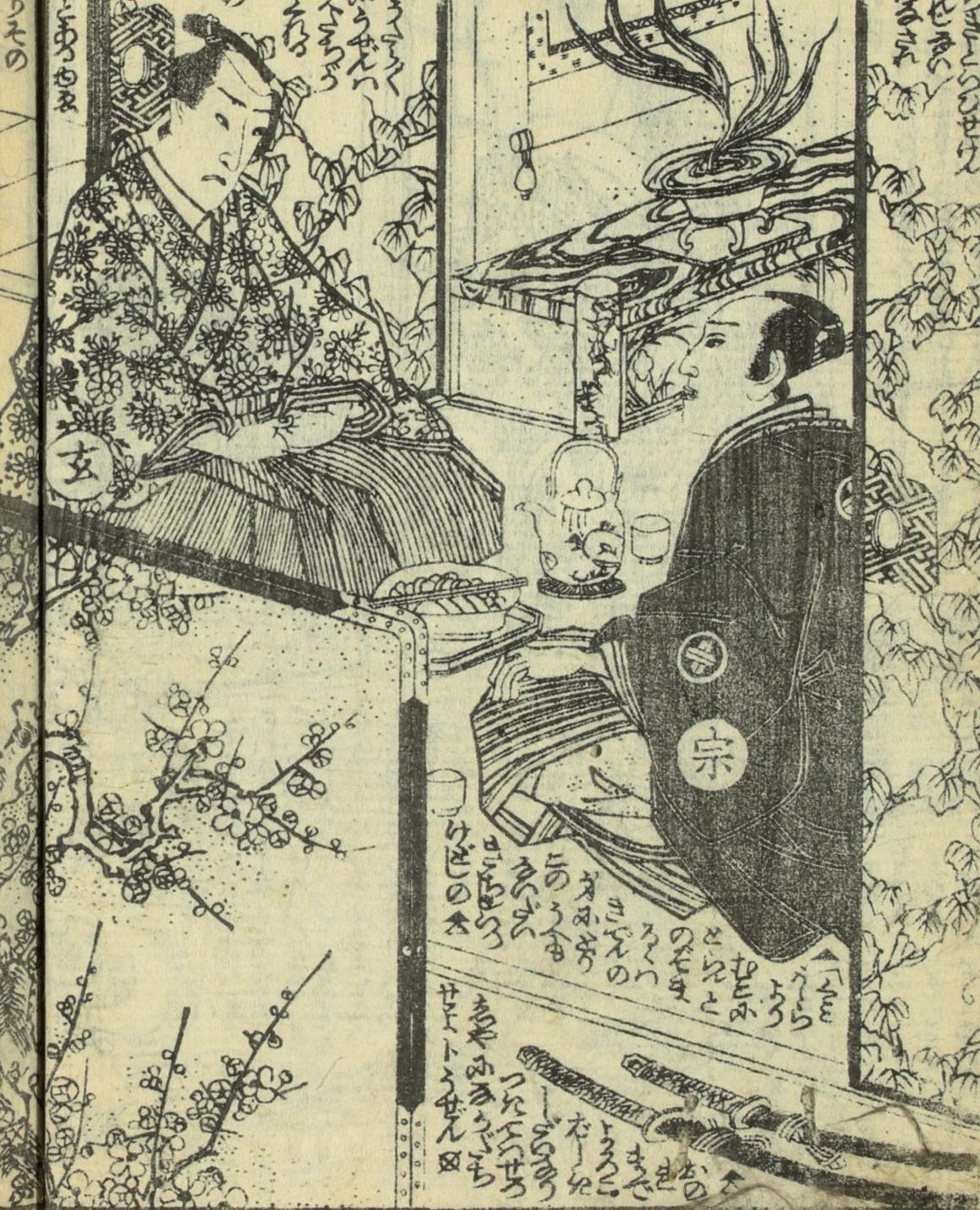
Handwritten text in the lower right corner of the left page, continuing the narrative or dialogue.



Handwritten text in the lower right corner of the right page, continuing the narrative or dialogue.

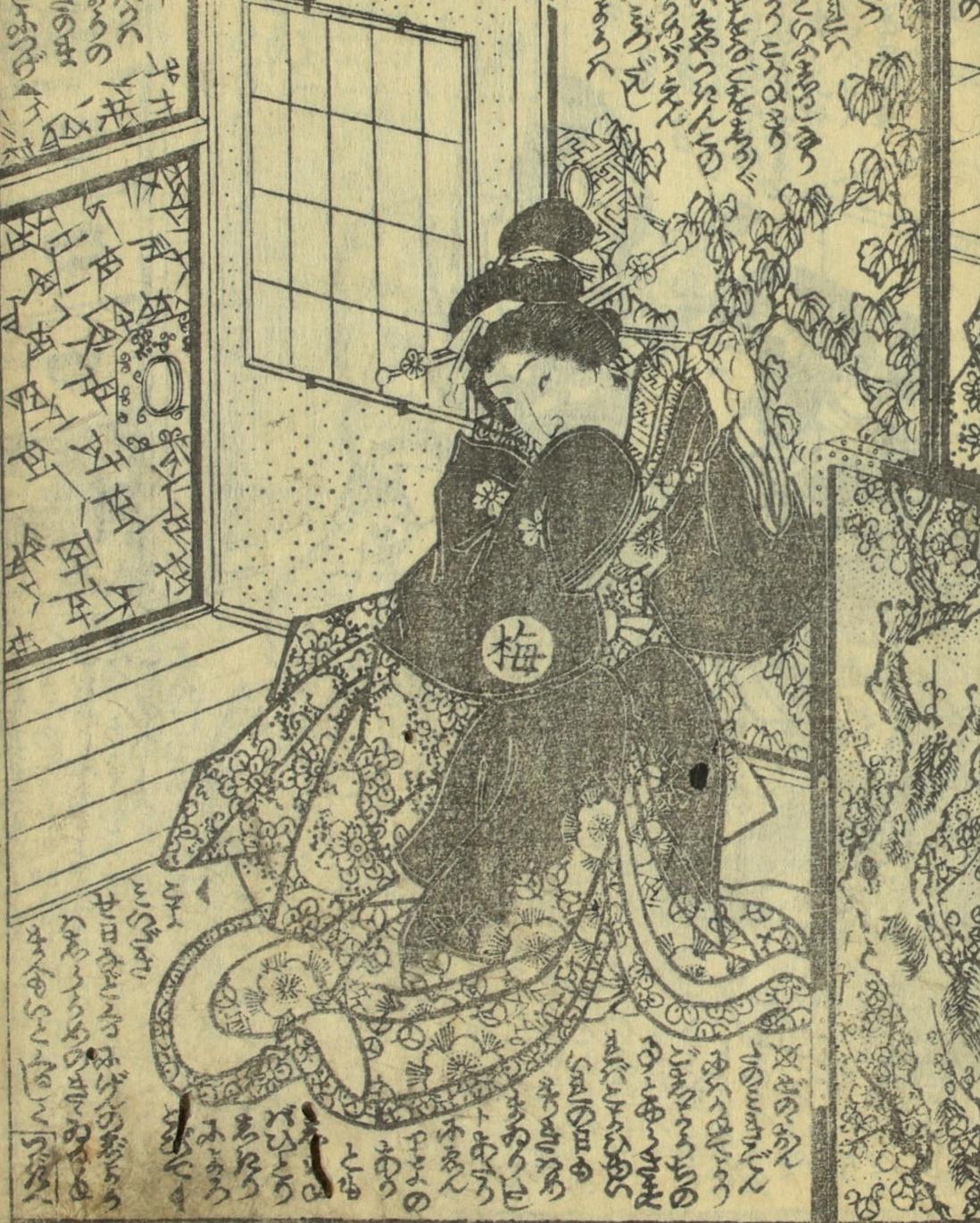
Vertical handwritten text on the far right edge of the right page.

Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a title or introductory text.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, possibly a dialogue or commentary.

Handwritten text in the top left corner of the left page, likely a title or introductory text.



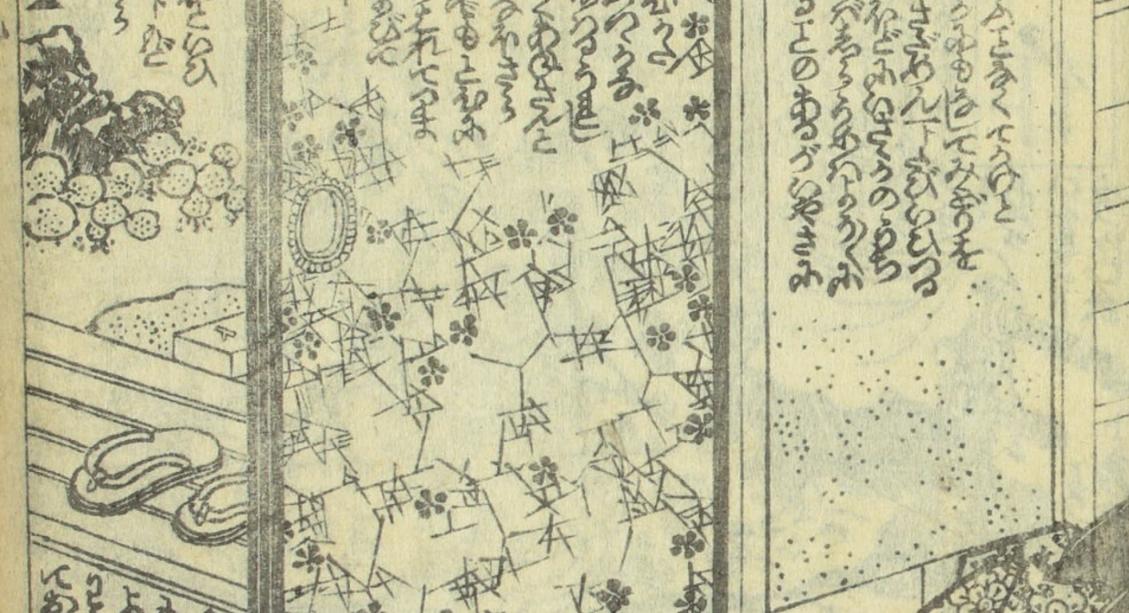
Handwritten text in the bottom left corner of the left page, possibly a dialogue or commentary.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page, below the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the landscape illustration.

# 鐵白

此冊子彫刻  
 延元の美  
 本板元  
 達之め  
 外任せ  
 常編  
 上巻十葉  
 助筆  
 仕候

存候右  
 写本遅退  
 此冊子彫刻  
 延元の美  
 本板元  
 達之め  
 外任せ  
 常編  
 上巻十葉  
 助筆  
 仕候

刑  
 岩

冊上  
 豊豆國

刑  
 岩

冊上  
 豊豆國

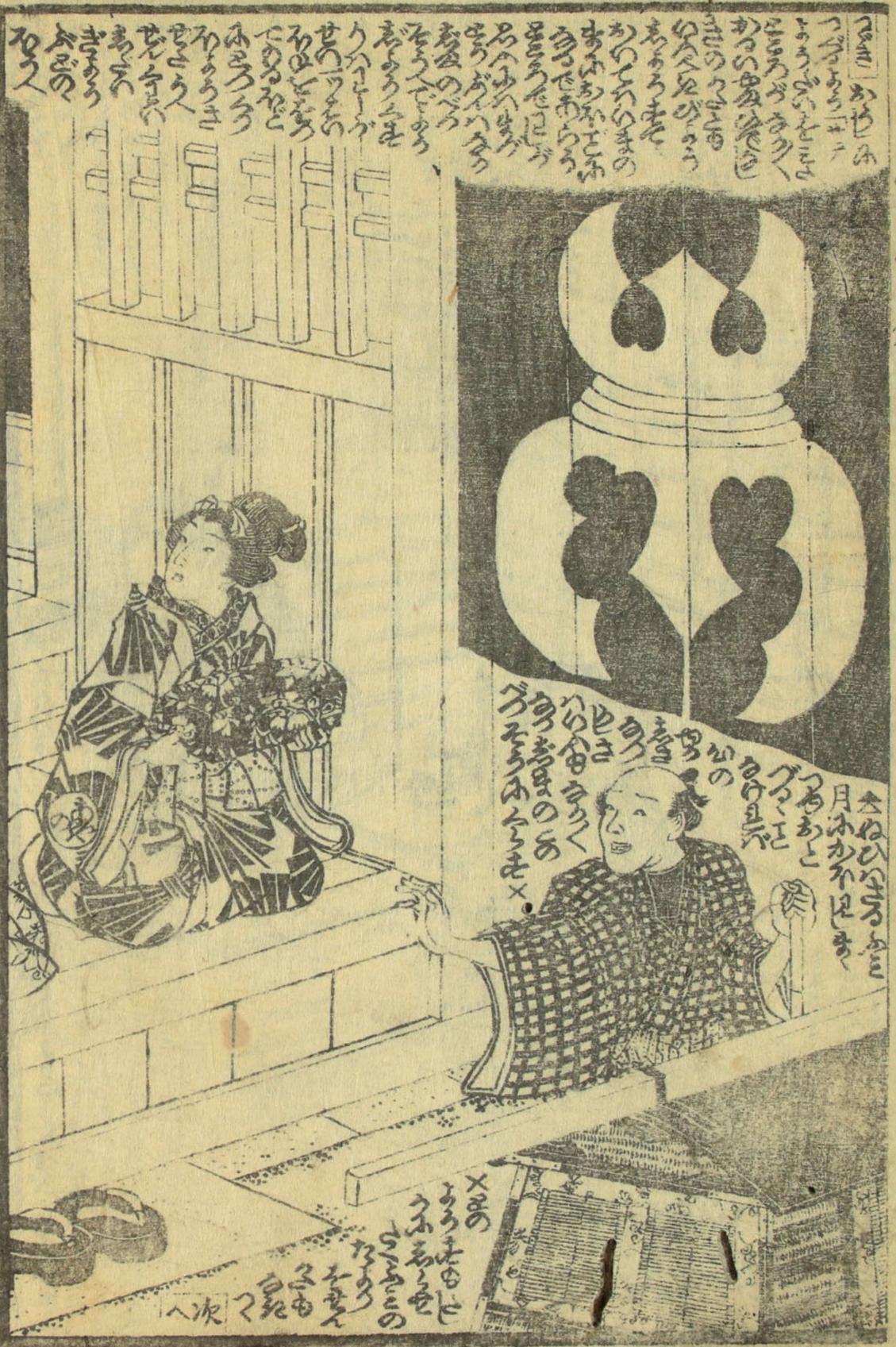






あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの



あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの



あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

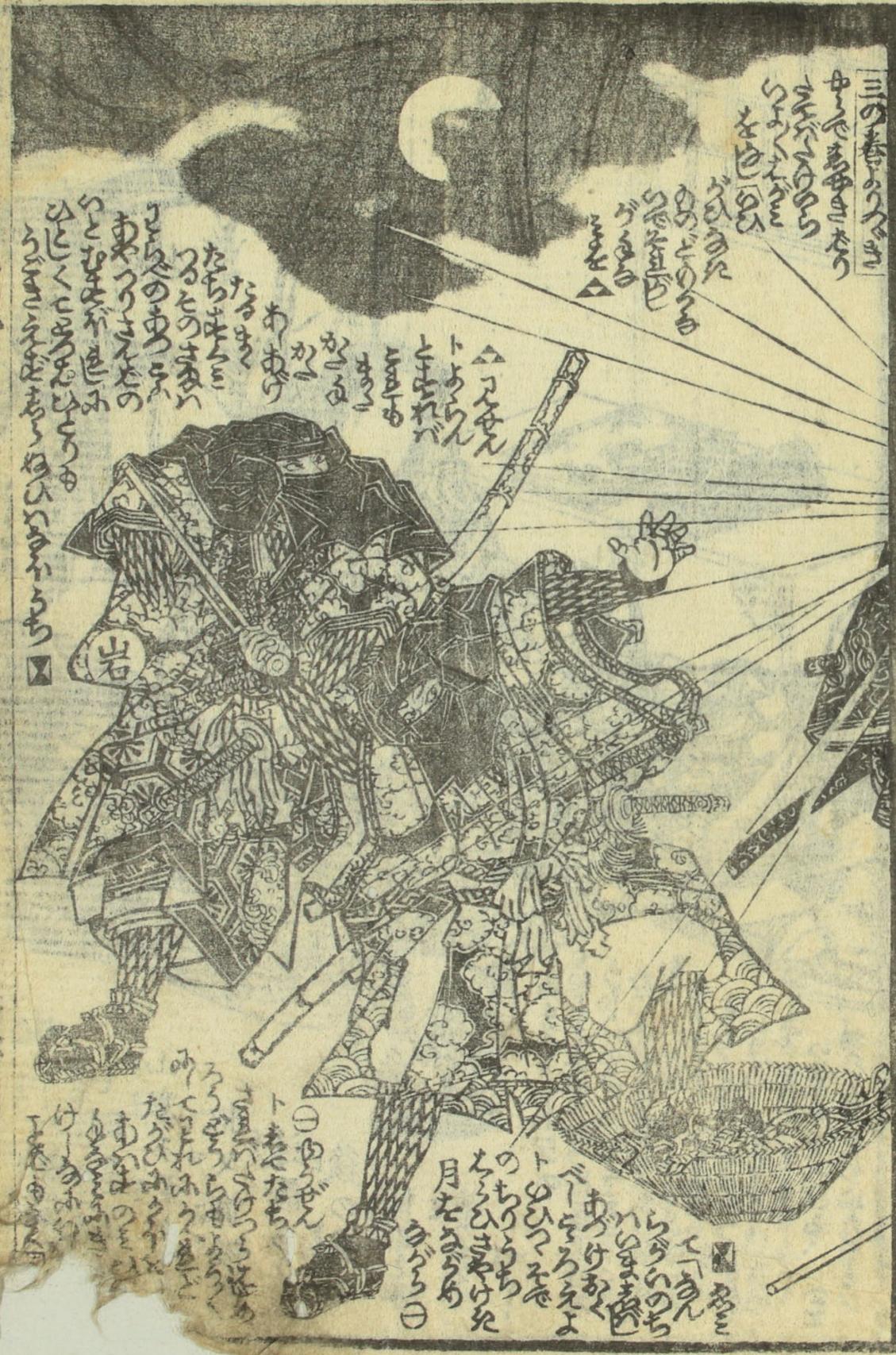
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの





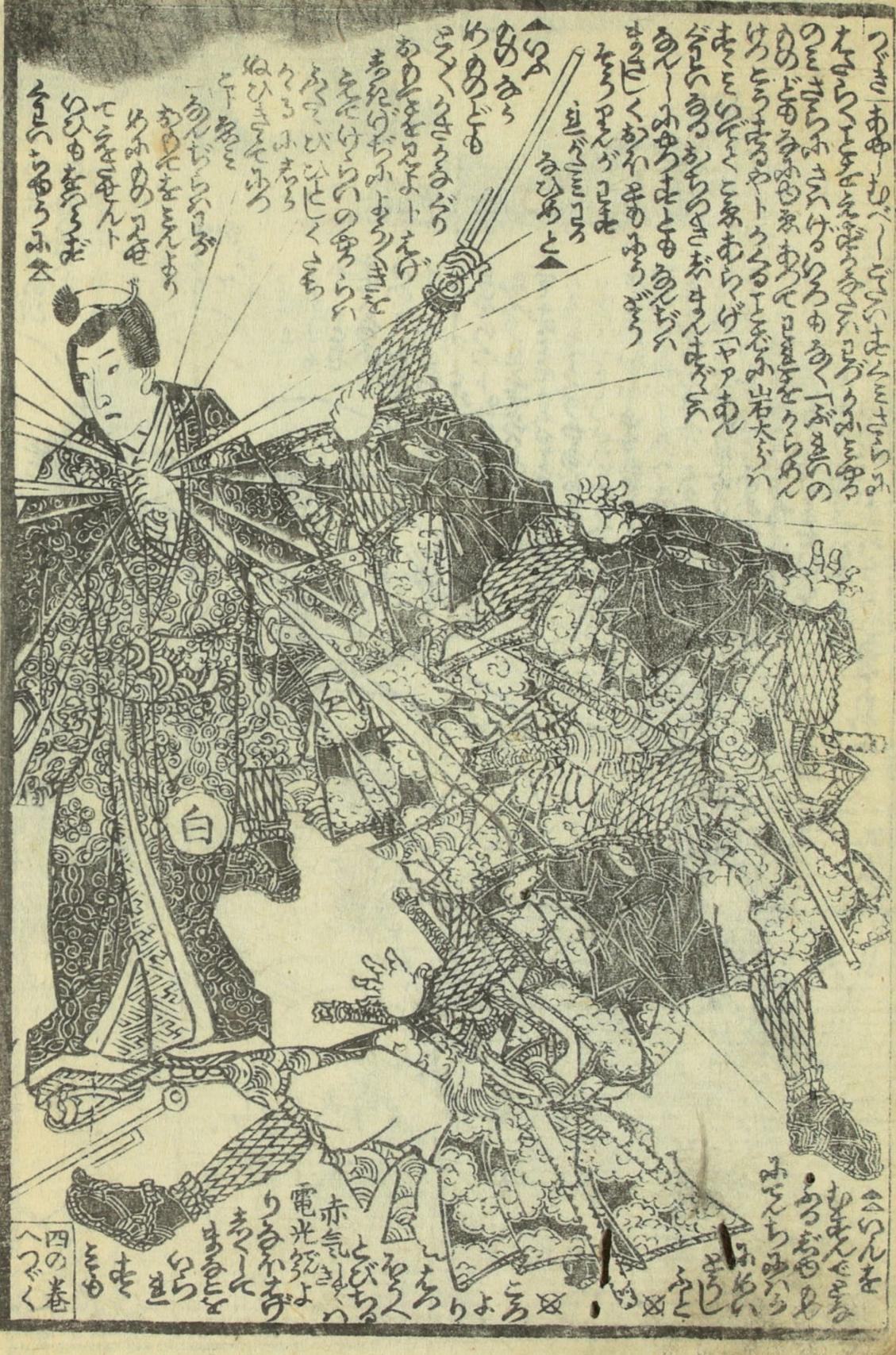




三の巻のついで

三の巻のついで  
 中をまわす  
 三の巻のついで  
 中をまわす  
 三の巻のついで  
 中をまわす

岩  
 三の巻のついで  
 中をまわす  
 三の巻のついで  
 中をまわす  
 三の巻のついで  
 中をまわす

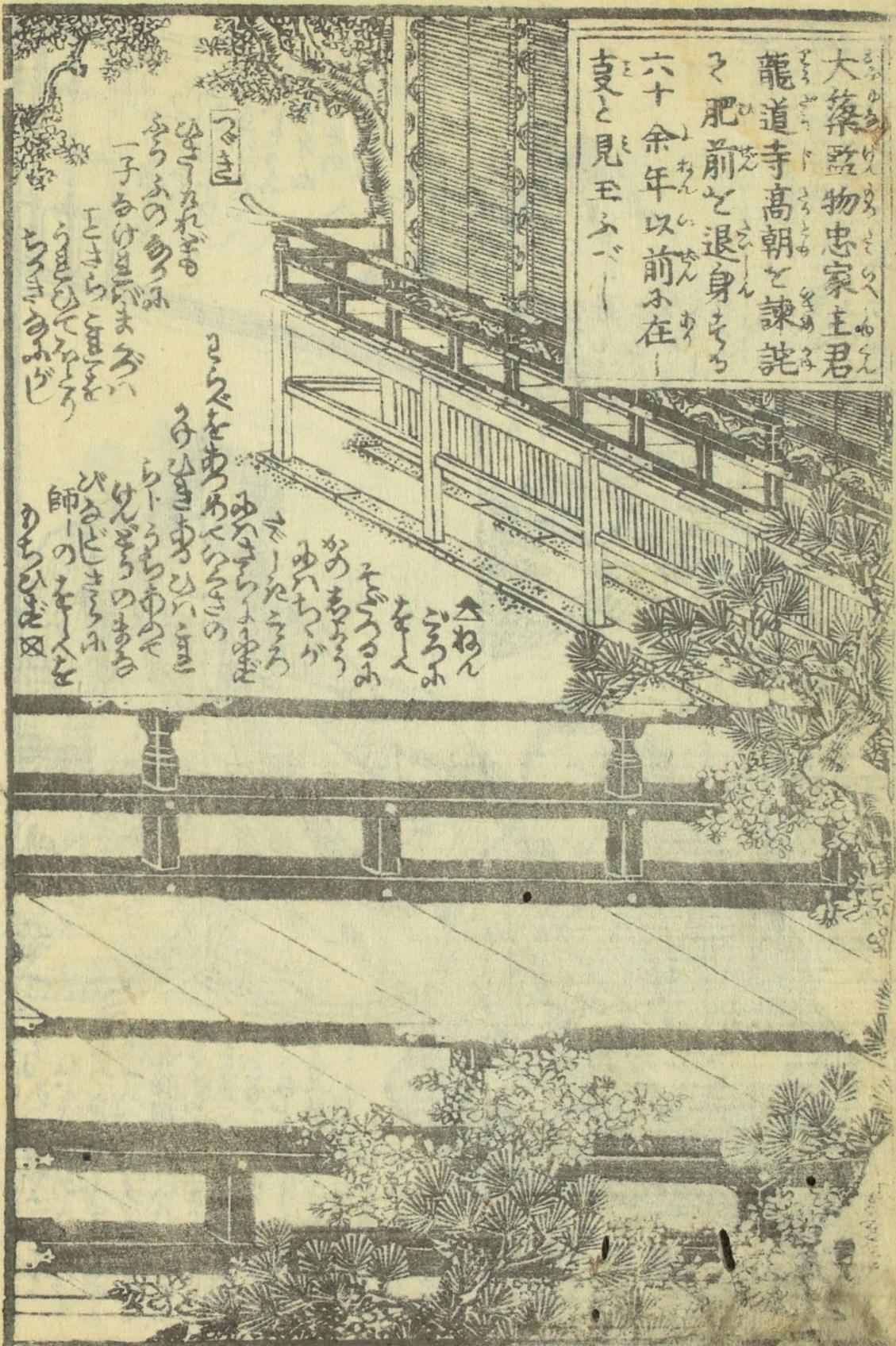


四の巻のついで  
 中をまわす  
 四の巻のついで  
 中をまわす  
 四の巻のついで  
 中をまわす

白  
 四の巻のついで  
 中をまわす  
 四の巻のついで  
 中をまわす  
 四の巻のついで  
 中をまわす



大藤 隆道 忠家 主君  
 龍道 寺高 朝と 諫 詫  
 肥前と 退身 せり  
 六十 余年 以前 不在  
 支と 見玉 ふべ



大藤 隆道 忠家 主君  
 龍道 寺高 朝と 諫 詫  
 肥前と 退身 せり  
 六十 余年 以前 不在  
 支と 見玉 ふべ  
 一子 あり 世に 傳へ  
 師の 徳を 承け  
 忠の 心を 守り  
 世に 名を 立て  
 後世 に 傳へ



大藤 隆道 忠家 主君  
 龍道 寺高 朝と 諫 詫  
 肥前と 退身 せり  
 六十 余年 以前 不在  
 支と 見玉 ふべ  
 一子 あり 世に 傳へ  
 師の 徳を 承け  
 忠の 心を 守り  
 世に 名を 立て  
 後世 に 傳へ  
 忠の 心を 守り  
 世に 名を 立て  
 後世 に 傳へ





地本草紙問屋

通油 浅草今戸町

藤岡屋慶次郎

十八編ハ紀伊國加田浦の漁夫潮助が往時の白梅七姉花衣が身の上を知り  
 下の巻ハ十七編の口画小海賢小入此冊子一個の立者三笠山伊達五郎が  
 西淵右膳が女翠平山麻玄之照を慕戀るど終り十九編ハ安白梅右膳が邪悪の  
 玄之照が爲小非命小果るの語二十編ハ三笠山が贈加喧嘩の条より母親浅草が成行の  
 廿一編ハ伊達五郎母と妹の仇討小田河内の堂狩の夜五個殺害小おんを面白く  
 花やんたる趣向これら廿二編廿三編ハもろくろ廿四編ハ青柳春之助英智を逞くして  
 伊達五郎を救ふより攝州須戸の駅亭小鳥山豊後助が必死の厄難龍川小文治  
 三笠山伊達五郎怪力小雌雄を争ふ物語ハ廿五編の巻末まで小説下廿六編  
 より以下のこの余紙あらざればこゝ小告さをおかからば出板毎小海りとの程を  
 願上奉るなり

作者種員伏稟

白縫物語

自第十八編 至二十五編

柳下亭種員作 梅蝶樓國貞画

當寅閏七月より來卯正月迄無相違出板



くろ編手文の



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text includes characters such as 山 (mountain), 田 (field), and 竹 (bamboo), along with various symbols and flourishes.



譚

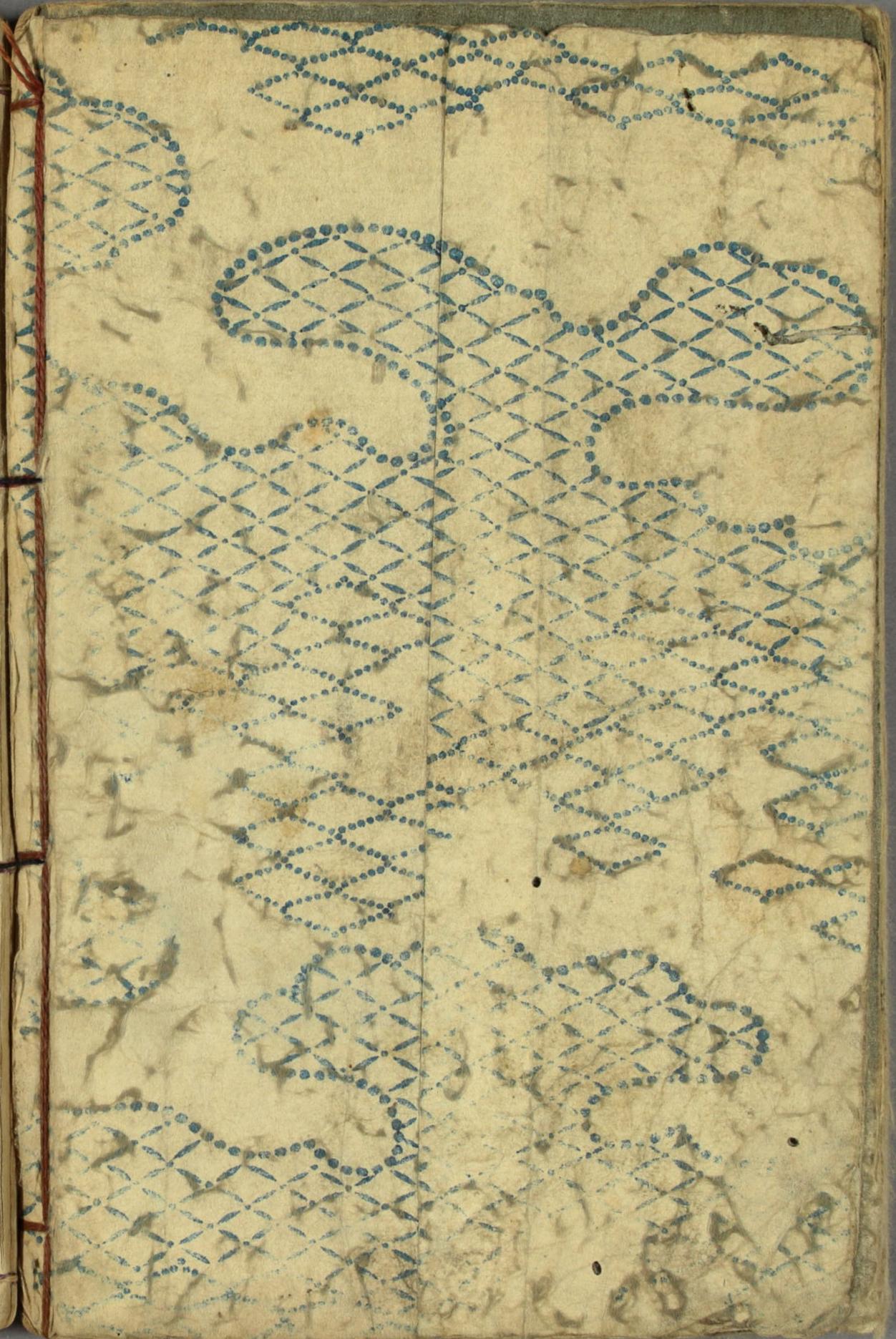
白

世編

縫



世編



先達不發兌せる此書の巻尾目錄も記さず十八編

山鹿玄之丞白梅等々事と説くと概畧ハ草稿

莫逆友の告て曰忠臣蔵十一段の内四段目より以下八段目の除て

五段目六段目の寂莫なるに彼淨瑠璃中第の魁役由良之助の

出ぬ場も名とを足下が著述の不知火も一部の主と唱へき右米

雜暫出たる者官の不貞となす一其了簡して綴るま斯評の

長物語此後編ハ弥肝要必とも不怠慢をくと勘平意味で教尔

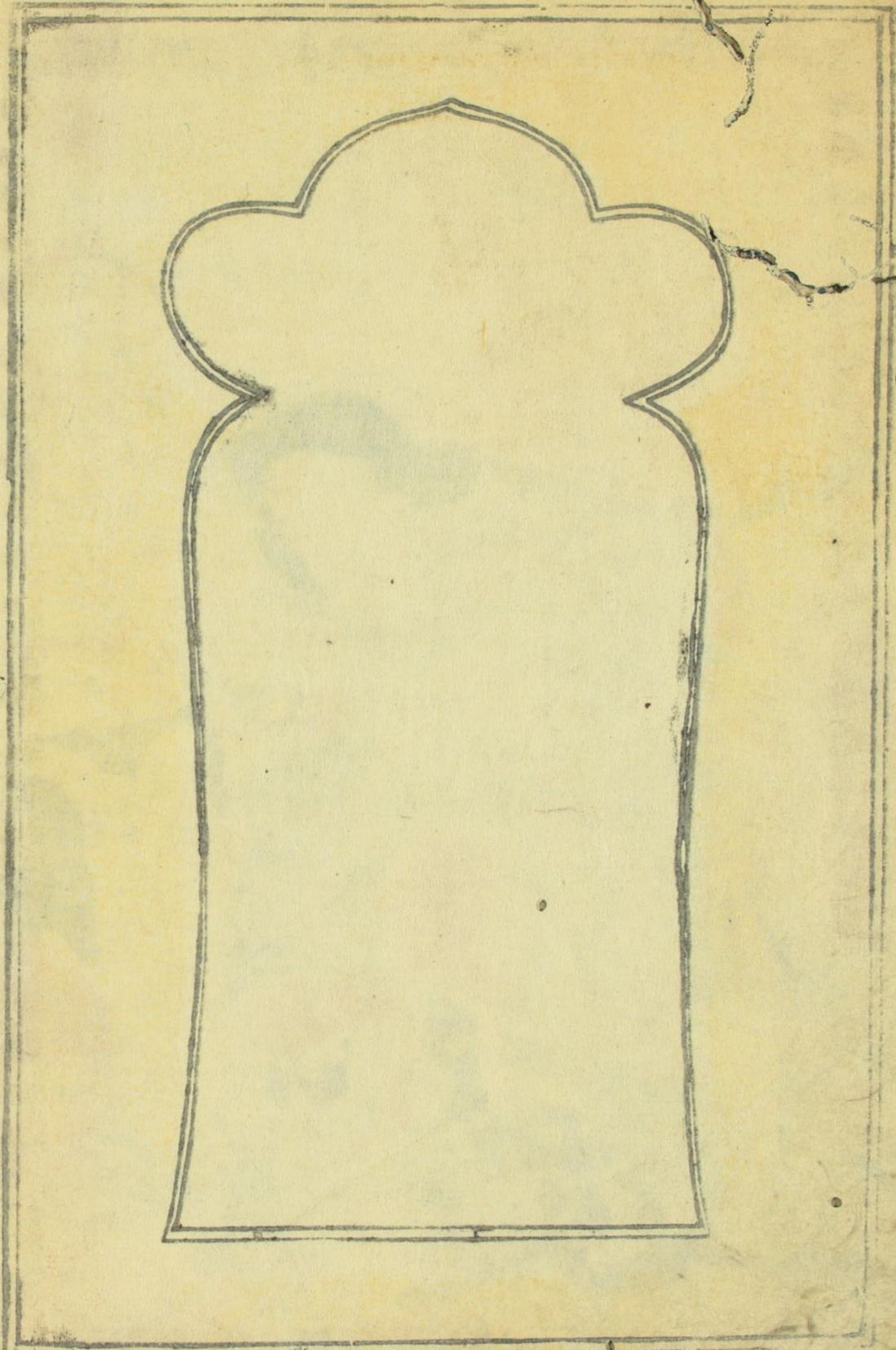
是合巻と邊下條を案替違の未あと思ひつる阿蘇嶺の阿修羅

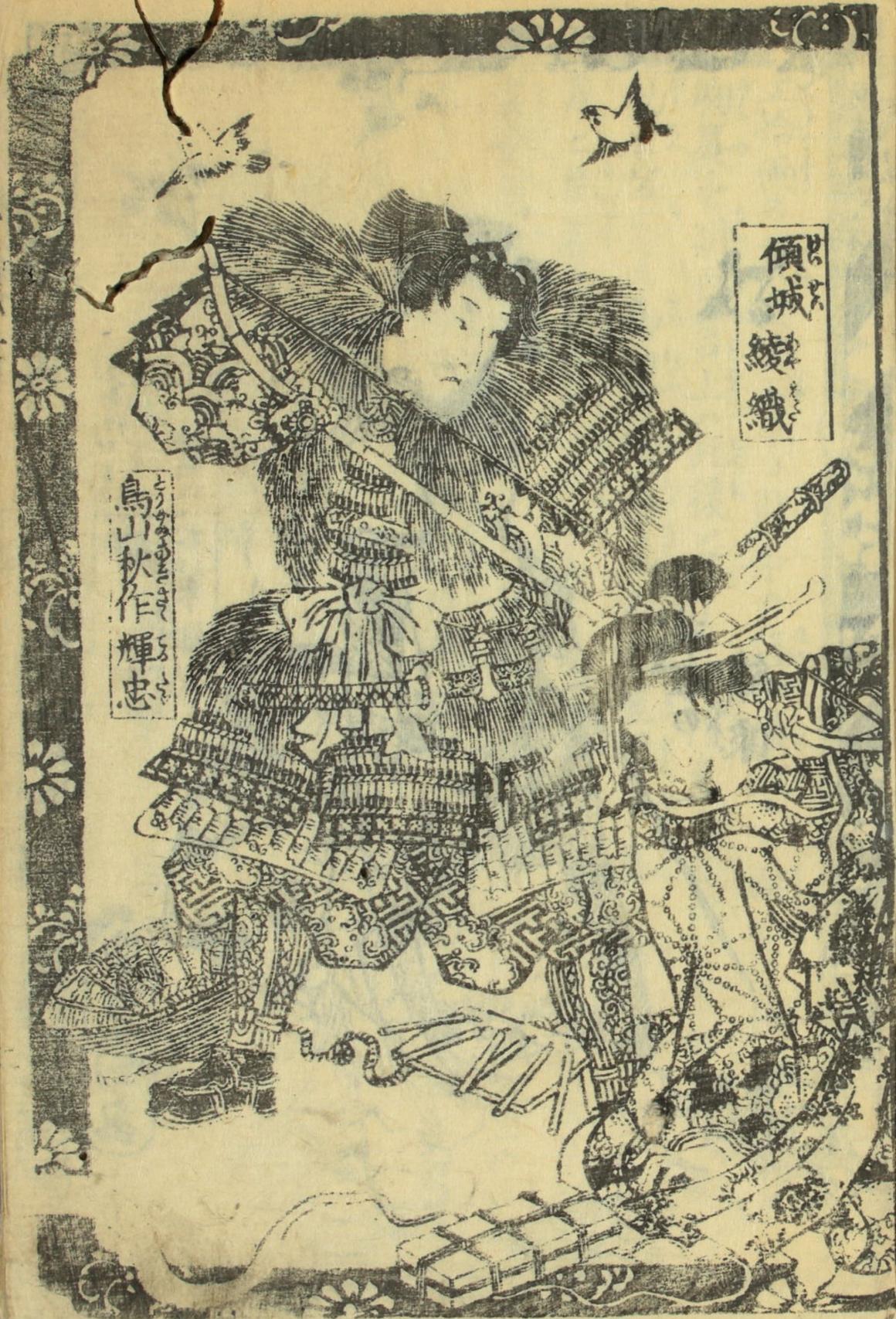
層殿の夜鉄炮雨の震動雷電必死を青柳春之助不救い入場を

野指より先逸散ふい

僧三笠山伊達五郎ヶ山田河内ふ五個

あつぬいけ





傾城綾織

鳥山秋作輝忠



曲五國魚

伊勢參  
美八龜  
多門  
光助  
光行

若菜姫

女馬士曲擦  
實の若菜姫

西王國出



若菜姫の  
繡像

五拾両の黄金を入らる財布の縞の横堅小雜交に編ぎこころを  
胸裏を明白言上り此後ごとも拙作意か趣向を雲願君子御  
助言とらん為願の御願員深編笠原千寄が訪来やうふ在宿ある  
哉と見苦きと茅屋逆光臨かろとも書房一告むる尊意次第即時  
案變愚存と御披露をさるる益友が譬諭ふひける六段目の山崎  
あゝ心是れ今戸は八幡宮の真向に住居を移しと聞ふは頃  
あゝ心ありと

安政甲寅仲冬成稿  
同 乙卯初春發販

柳下亭種員記

于椽素軒南窗試筆

宮城魚





Vertical Japanese text columns on the upper left side of the illustration, likely identifying the figure or providing a narrative context.

Vertical Japanese text columns at the bottom of the illustration, possibly a commentary or a continuation of the text above.



Vertical Japanese text columns on the upper left side of the illustration, likely identifying the figure or providing a narrative context.

Vertical Japanese text columns in the middle of the illustration, possibly a commentary or a continuation of the text above.

Vertical Japanese text columns at the bottom of the illustration, possibly a commentary or a continuation of the text above.















種員作  
國貞画

廿編下



柳下  
松林



園

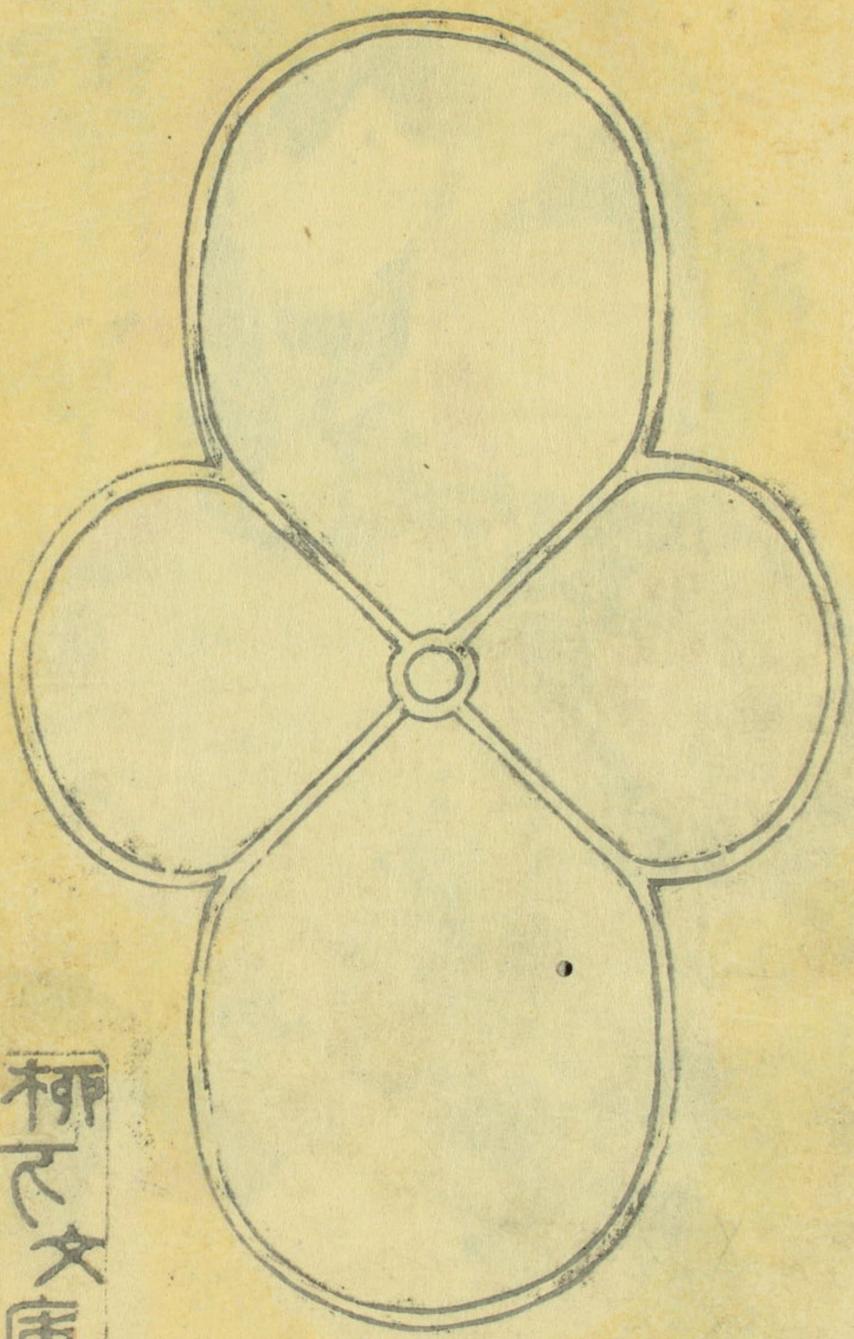
三

梅

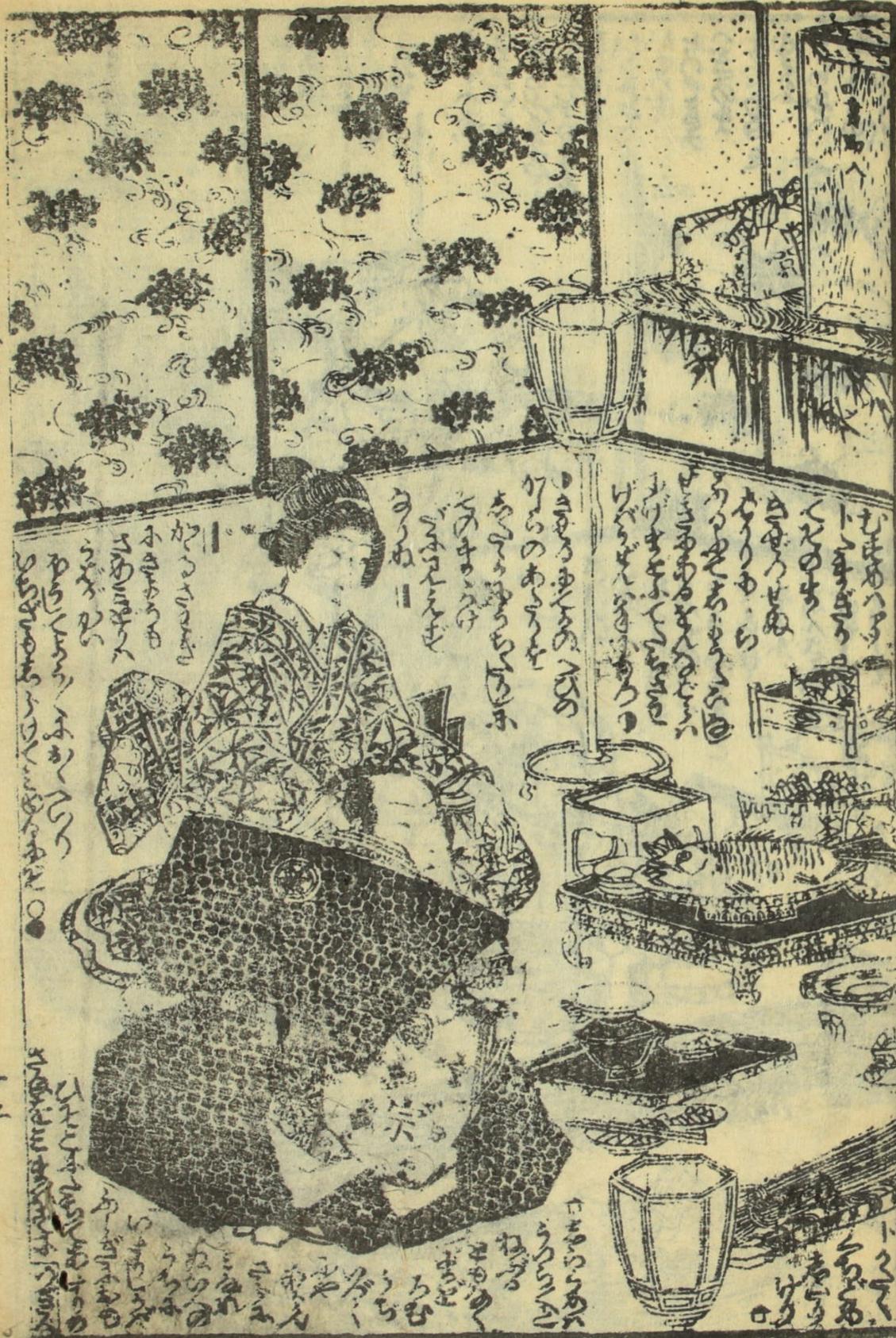


一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、



柳文庫













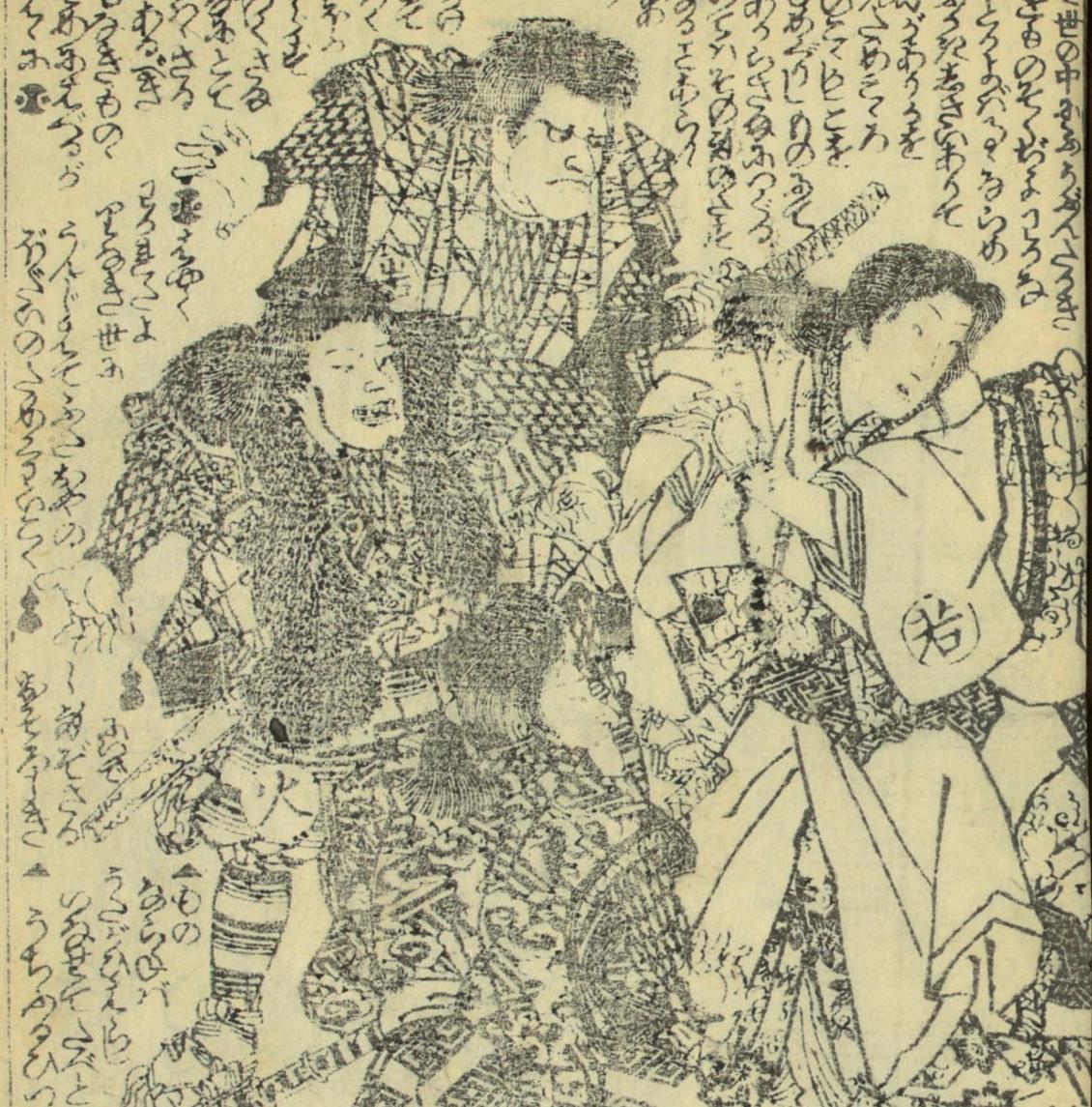


Handwritten text in vertical columns, likely a list of names or titles, located at the top of the right page. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, located at the bottom of the right page. The text appears to be a continuation of the list or a commentary on the scene above.

Handwritten text in vertical columns, located at the top of the left page. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, located at the bottom of the left page. The text appears to be a continuation of the list or a commentary on the scene above.

Vertical text on the far left edge of the left page, possibly a page number or a reference.









